

分野	取り組み（事業）名	実現度	A	B	C	D	意見・理由など
交通安全	①ながら見守り 1 仕事や散歩中に見守りを行う	A	7				1 お金がかからずすぐできる いかにも市民に周知するか ①地区の会議でも周知&PR ②センターだよりで周知&PR
	②交通安全指導 2 学校周辺交差点の児童の見守り	B	2	4	1		2 毎日実施は難しい 期間を限定して実施（春夏秋）
	3 交通安全教室の実施（警察等の協力が必要）	C		3	4		3 地域で実施は無理
	4 登下校の見守り（PTAの協力で月1程度）	B	2	5			4 PTAの協力が必要 通学方法が多様なため難しい
防災	①学校と連携した防災訓練 5 学校と連携した訓練の実施	C		2	5		5 十分な検討が必要
	②防災・災害学習会 6 地域ぐるみで防災強化、炊き出し避難を学ぶ	C		2	5		6 十分な検討が必要 炊き出しについては可能性あり
	7 救急救命・AED講習の実施	B		7			7 十分な検討が必要
	③防災倉庫の確認 8 防災倉庫の確認の実施	A	7				8 すぐに可能 自治連と合同若しくは防災訓練と共同で
	④マップやマニュアルの作成 9 防災マップの作成 10 自宅でできる防災マニュアル	C		1	6		9 十分な検討が必要
		B	1	3	3		10 例を示して各家庭で行う 災害時に家族で連絡が取れない場合の避難先を決めておくなど
	⑤災害時の援護についての検討 11 災害時の援護体制、独居高齢者の情報の共有	C		1	6		11 十分な検討が必要 消防署等と連携をして
防犯	①ながら見守り 12 仕事や散歩中に見守りを行う	A	6	1			12 交通安全の見守り同様すぐに可能 周知&PRが必要
	②青色パトロール 13 巡回の増（週一）時間帯の変更、併せて不法投棄の防止を図る	A	7				13 現状で実施中であり今後回数を増加したり時間帯を変えるなど事業内容の充実を図る
	③子ども 110番の協力者増 14 人が居ることをアピール	B	6	1			14 PTA等と調整が必要

	④空き家マップの作成 15 調査が必要、自治会、地区社協と調整	C		1	6		15調査が必要
	⑤防犯カメラの設置 16 不法投棄の防止を兼ねて、事業者と協働で	C		1	5	1	16事業者企業等スポンサーが居れば（予算があれば）可能

実現度：A すぐ出来そう1年目から B ちょっと頑張れば2年目から C 必要だが検討が必要3年目以降 D 地域では無理

分野⇒【生活マナー・環境美化・景観・ごみ減量化資源化・地域環境】

取り組み事業シート

分野	取り組み（事業）名	実現度	A	B	C	D	意見・理由など
ごみの減 量資源化	① ごみゼロ運動の充実 1 まちピカ 大作戦を活用し実施、ポイ捨てをさせない啓発 2 日頃からゴミを拾う習慣を啓発	A	7	2			1 連携したごみゼロ活動 冬場に1回行う
		A	9				2 具体的には今後検討
	① 資源回収運動への参加 3 有価 物の団体をつくり補助金をいただく	C		4	5		3 こども会、PTAとの兼ね合いを検討
景観 環境美化	① 花の街道づくり 4 カンナ、水仙、 彼岸花、あじさいを植え散策路等を整備 5 景観のいい写真、絵の展示 6 下手賀沼の土手の整備（草刈） 7 金山落の土手の草刈	A		9			4 カンナを先行する その後はアジサイ
		B		9			5 募集は先行する
		B		9			6 環境塾の活動をベースに
		B		9			7 管理者と相談の上進める

実現度：A すぐ出来そう1年目から B ちょっと頑張れば2年目から C 必要だが検討が必要3年目以降 D 地域では無理

分野⇒【伝統文化・福祉・高齢者障がい者支援・地域活性化・住民同士の交流・外国人との共生・その他】

取り組み
事業シート

分野	取り組み（事業）名	実現度	A	B	C	D	意見・理由など
住民同士の交流	①夏まつり 1 第二小学校校庭で第二小学校区全体の盆踊り大会を実施する 外国人の交流も兼ねる、小学校児童の発表も入れる	B	2	6			1. R3年度は公民センターで行い、R4年度 第二小学校に移動 例年50万円ほどかかっている
	○ほっこり市・まんぷく広場 2 公民センター事業の継続	B	1	9			2. 公民センター実施の「ほっこり市」と「まんぷく広場」・地区社協が行う「ばらっばまつり」を手伝う
地域活性化	①耕作放棄地活用の研究 3 耕作放棄地で障がい者が花や野菜を作る、農業経験のある高齢者が教えるなど、また企業の障がい者雇用の確保の面から研究を行う 体験農園は人気で作る喜びを創出	D		1	9		3. 解決しなければならない問題が多いため
	②第二小区カレンダーの作成 4 第二小区の魅力の発信として公募で写真や情報を集め12か月1枚のカレンダーを印刷し、各家庭、区域外にも配布する	A	7	2	1		4. 早急に準備し、3月の完成を目指す 域外の人にも配布する
	○新規営農者への支援窓口 5 耕作放棄地を減らすため、他所からの移住を含め支援、研修情報の提供（農地法の壁、新規営農者へはハードルが高い）	D			1	9	5. まち協での解決は無理
	○森のアスレチック整備 6 空き地を利用する	D			1	9	6. 所有者との交渉、金銭面で無理
外国人との共生	○調査 7 居住の把握⇒訪問	D		3	7		7. プライバシーの問題を考えると無理
	○学校、会社訪問 8 小中学校、会社への訪問	D		5	5		8. 学校はOKだが会社へは無理
	○農業体験 9 休耕田畑で家庭菜園の場を提供する	D			10		9. 休耕田畑で外国人の農業体験の仕組みづくり難しい
	○イベント交流会 10 お互いが知り合えるよう、料理や言葉を理解	B		8	2		10. 国際交流協会実施のイベントを手伝う

福祉	○福祉情報センターの設置 11 ネットワークやボランティアなどの情報の収集	C	1	2	7	11. どのような仕組みにするか調査研究研究	
	○交通機関の確保 12 高齢者の免許返納後の対応策の検討	D		1	5	4	12. 仕組みを考える時間が必要
	○障がい高齢者の就労支援 13 遊休農地で農業で生きがいを	D			9	1	13. 遊休農地の確保と支援者をどうするか
伝統文化	○保存 14 お囃子保存	B	4	6			14. 第二小学校区の中で中地区以外のお囃子の保存も含め方策を検討
	15 神社仏閣の境内等の環境整備	A	10				15. 各地区で行っている清掃活動を知らせていく
	16 地区の歴史を伝える 伝承	B	3	5	2		16. 方策を検討後実施
	○宝物マップの活用						
	17 PRと看板の設置	B	3	5	1		17. できることから、数か所でも簡易的な看板をつける
	18 巡りながら（ごみ拾いもしながら）勉強（樹木・植物の名前等）	A	8	2			18. マップ利用のイベント 植物も下調べ 巨木の調査
	19 散策路の整備 今井の桜+下手賀沼+カンナ街道等 鮮魚街道や小森城からの古道の整	B	1	6	3		19. 草刈 整備等環境塾と合体して行う

実現度：A すぐ出来そう1年目から B ちょっと頑張れば2年目から C 必要だが検討が必要3年目以降 D 地域では無理